

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	建築環境設計論 刊行小委員会	主 査 名：石野 久彌 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：岩田 利枝
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・2016 年度より検討を続けてきた「見る・使う・学ぶ 環境建築設計論」を執筆・刊行することを目的とする。 ・初年度は刊行計画の確定、原稿作成、小委員会内での査読を行い、原稿を完成する。 ・2 年度は、正誤表の整備、シンポジウムの開催を行う。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	役職	氏 名
	主査	石野久彌 首都大学東京名誉教授
	幹事	山本佳嗣 東京工芸大学
	委員	赤司泰義 東京大学
	〃	宇田川光弘 工学院大学名誉教授
	〃	大木泰祐 大成建設
	〃	菊田弘輝 北海道大学
	〃	郡 公子 宇都宮大学
	〃	小池正浩 竹中工務店
	〃	木幡悠士 NTT ファシリティーズ
	〃	長井達夫 東京理科大学
	〃	中山哲士 岡山理科大学
	〃	永田明寛 首都大学東京
	〃	小林克弘 首都大学東京
	〃	羽山広文 北海道大学
	委員	本郷太郎 日建設計
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2019 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 見る・使う・学ぶ 環境建築設計論 日本建築学会編 技報堂出版株式会社 2019 年 7 月 5 日発行
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「環境建築設計論」 参加者数 127 名 資料「環境建築設計論」
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 書籍「見る・使う・学ぶ 環境建築設計論」の発刊 2. 関連するシンポジウムの開催
委員会活動の問題点 ・課題	1. 計画的な予算執行

2019年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>本年度は2年目の活動として、査読対応、索引の作成、書籍の発刊、シンポジウムの開催等を行った。当初の計画通りのスケジュールを進めることができ、刊行小委員会2年目の半ばにて書籍の発刊とシンポジウムの開催まで到達した。シンポジウム「環境建築設計論」は7月2日に建築会館ホールで行い、会員72名に加えて会員外45名、学生10名の参加があり、盛況であった。本小委員会の成果を広く公表することができたと考える。</p> <p>小委員会の開催は年2回であったが、書籍の内容の精査・微調整・シンポジウムの企画に関してメール等を活用して慎重な原稿の精査と活発な議論を行った。</p> <p>原稿は、多数の実務者・研究者に執筆を依頼し、幅広い読者層を対象とした書籍となった。また、最新の環境建築事例を口絵方式で掲載することができ、一般読者にも興味深い内容となった。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。